

海水資源・環境セミナー

URL : <http://www.swsj.org/research/research-06.html>

日本海水学会海水資源・環境研究会では、海水資源・環境セミナーを開催いたします。本セミナーは勉強会と位置づけていますので、多くの方々にご参加頂いて活発な意見交換をして頂きたいと思っております。

主催：日本海水学会 海水資源・環境研究会
協賛：一般社団法人 日本粉体工業技術協会, 分離技術会
日時：2016年6月24日(金) 14:00~17:00
セミナー終了後、技術交流会を開催いたします。(17:15~18:45を予定)
場所：千葉工業大学津田沼キャンパス7号館4F7405教室
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
JR総武線/津田沼駅(南口)下車 徒歩1分
京成線/京成津田沼駅下車 徒歩15分
新京成線/新津田沼駅下車 徒歩3分
<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html>
◇次ページのアクセスマップを参照ください◇

概要：

○マグネシウム業界の現状と展望

一般社団法人 日本マグネシウム協会 小原 久 氏

マグネシウムは海水中に2番目に多く存在する陽イオンであり、海水資源・環境研究会においても、その回収および利用技術について検討して参りました。同氏にはマグネシウムの最近の需給動向および展望についての話を中心に、用途やマグネシウム産業についてもご紹介頂きます。

○古くて新しい!今注目の「エプソムソルト」!!

馬居化成工業株式会社 浅野 達夫 氏

同社は販売と生産のシェアが日本一である硫酸マグネシウムをはじめとした無機化学品のメーカーです。硫酸マグネシウム製造における研究開発や粉体加工技術に関してご講演頂くとともに、試薬・医薬用から化粧品・肥料用等多くのグレードが製造されている同社の硫酸マグネシウム製品についてご紹介頂きます。

○マグネシウム水素化物による定置型水素貯蔵技術の現状と今後の課題

日本大学 西宮 伸幸 氏

フランスのマクフィ社は700kgの水素を定置貯蔵できるシステムを市場に出しています。マグネシウムを主体とする混合物をディスク状に固めたものを用いているのですが、空気中で発火するおそれがないといえます。この技術の詳細と、その延長線上にある同氏が展望する応用技術についてご紹介頂きます。

参加費：3,000円

申込方法：氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、E-mail)を以下の申込先にE-mail等でご連絡下さい。

申込・問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

公益財団法人塩事業センター海水総合研究所(担当：加留部、鴨志田)

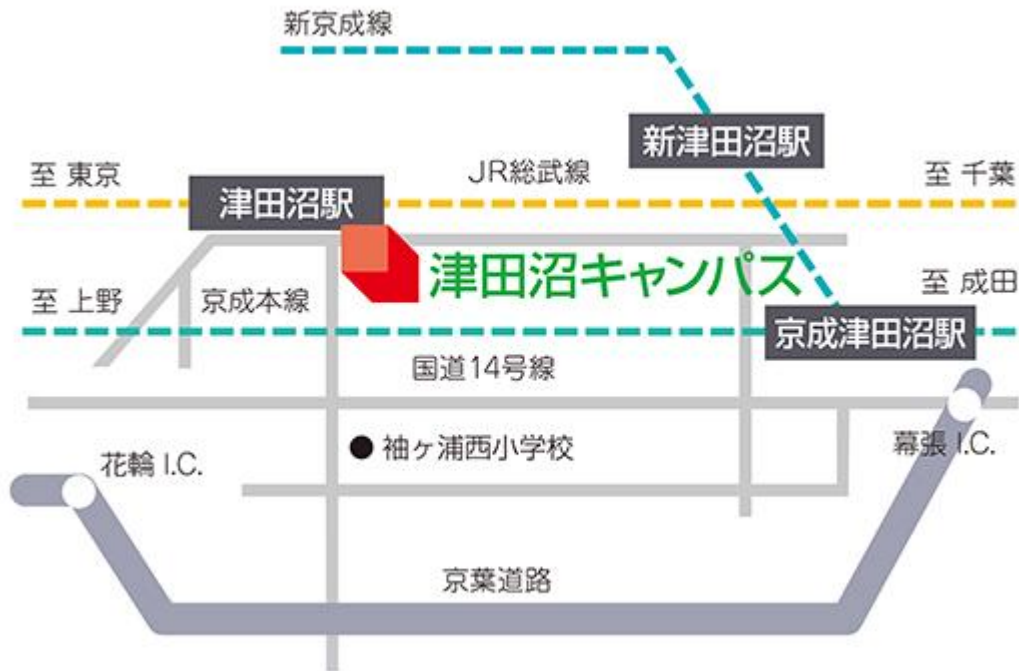
E-mail: shigen@swsj.org

Tel: 0465-47-3161

申込締切：6月20日

当日の問合せ先：090-3473-5113(鴨志田)

千葉工業大学津田沼キャンパスアクセスマップ



千葉工業大学津田沼キャンパス内マップ

